



## ケーススタディ<sup>1</sup> 株式会社ウインローダーと高嶋民仁<sup>2</sup>

(株)ウインローダーは、三多摩地区および埼玉を拠点とした資本金 5,000 万円、従業員数 300 名弱の物流企業である。創業は昭和 25 年、創業者の高嶋末吉氏より代々一族によって事業が受け継がれ、現社長の高嶋民仁氏で 3 代目となる。現社長の下、ウインローダーは従来からの物流業に加え、新たにリサイクルを軸としたエコ事業にも積極的な展開をみせている。しかし、その道程は決して平坦なものではなかった。本ケースでは、ウインローダーの前社長である高嶋民雄氏によって形づくられた独自の経営理念、ならびに理念浸透活動を概観し、そうした独特の組織文化のなかでどのように現社長である高嶋民仁氏に事業が承継されていったのか、また、新事業はそのプロセスでどのような役割を果たしたのかを考えていく。さらに、その承継と新事業創造のプロセスを間近で見ていたウインローダーの社員や高嶋氏の家族の話も交えて、事業継承とはどうあるべきかを広く検討する。

小林 康一<sup>3</sup> 著  
監修：奥村 昭博<sup>4</sup>

---

<sup>1</sup> 本ケースは特定の組織や個人に関する経営管理の巧拙を例示するものではない。

<sup>2</sup> ケースの執筆に際し、株式会社ウインローダー高嶋民雄会長、高嶋民仁社長、ならびに多くの社員の方々に多大なるご協力を賜った。ここで感謝の意を表する。

<sup>3</sup> 高千穂大学経営学部助教

<sup>4</sup> ファミリービジネス研究所所長

Copyright©2009 はファミリービジネス研究所が保有する。

本ケースはファミリービジネス研究所が出版するものであり、ファミリービジネス研究所の許可を得ずに、本ケースのいかなる部分も、デジタル的、機械的、写真複写、録音、録画、その他の手法に拘わらず何れの形式によっても、複製、転送、配布してはならない。

お問合せ：

ファミリービジネス研究所事務局：〒104-0061 東京都中央区銀座 8 丁目 2 1 - 1 住友不動産汐留浜離宮ビル

プライスウォーターハウスクーパース株式会社内、電話 03-3546-8480、e-mail [office@fabis.jp](mailto:office@fabis.jp)